

(4) 木メビラヲ發行附近住民ニ配布レセ日ハ当座諭旨觀ニ附傳懸壁セリ
十七日後五時三十分頃星会社内ニ於テ共産党ヒラヒ種ラ撒布ゼル中上善次
ヲ現場ニ於テ検舉取調中

題記争議ニ關シ其ノ後ハ狀況左記、通ニ有之

記

一事業主側

會社側ニ於テ漸次作業ヲ回復シ、アリ 牧十七日ヨリ更ニ
製葉部ノ作業ヲ開始スルニ至リ出勤數八前日ト大差ナリ 重
役會ニ於テ対策ヲ練リフ、アルガ本爭議ノ轉回策トニテ當座諭
停課ノ折衝ニ後コト、ナレリ

二爭議團側

(A) 去十五日爭議團第一本部ニ於ケル暴行事件ニ因リ首脳部ガ檢
舉セラシタルヲ以テ十六日第二本部ニ集合シタル者約五十名

(丙女三千名)ニ對シ川端外五郎ガ結束方ニ就テ喰糞シタルを後
三時頃夫々飯宅ニ十七日八前九時ニ至リ約七十名(丙女四〇名)
參集シ、中田惣壽等、指導ニヨリ不參者、家庭訪問ニ努力メ
後三時頃夫々飯塗ニ就キタルガ指導者ヲ失ヒタル爭議團ヘ氣
勢擧カラサル状況ナリ

(B) 社員聯盟爭議團本部ニ於テ實行委員長木下春夫外約三十名
集合シ對公社ノ交渉ガ決裂状態トナレル爲メ十七日代表四名
ハ当座諭停課長ヲ訪問シ本題ニ關シ諭停方懇願ス
ル處アリタリ

三交渉狀況

從業員同盟及社員聯盟ハ會社ト直轄交渉ヲ爲スコト能ハサ
ル狀態トナレルニヨリ何等交渉ナレ